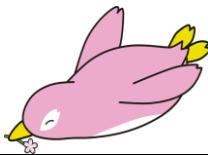




中台中学校 中台だより 第8号



発行 板橋区立中台中学校

発行日 令和7年12月23日

さくら草学びのエリア 中台中学校・中台小学校・若木小学校

*「中台中学校だより」は中台中学校のホームページにも掲載しています。



2学期を振り返って！

校長 宮澤 一則

12月25日(木)に終業式を行い、2学期も終わりとなります。79日間と最も長い学期ですが、なんとか無事に終えることができそうです。これも保護者の皆様や地域の方々のおかげと感謝しております。

2学期には修学旅行、職場体験、文化発表会など様々な行事がありましたが、行事を通して生徒たちは大きく成長しました。また、生徒会役員や委員会、部活動では9年生から下級生へとバトンの引き継ぎも行ないました。8年生は、中台中学校の中心となって責任をもって、活躍しています。「一生懸命はカッコいい！」という伝統をさらに発展させてほしいと願っています。

しかし、学習面では、さらなる努力が必要と感じます。家庭学習の時間が少なく、「毎日、どれくらい勉強している？」と聞くと「1時間です！」と胸を張って答える生徒もいました。日本の中学生の家庭学習時間は、学年の数プラス1時間、つまり中学1年生(7年生)は2時間、中学2年生(8年生)は3時間、中学3年生(9年生)は4時間が平均といわれています。生徒へのアンケートでも、家庭学習の定着が課題であることが分かります。学校の授業だけでなく、家庭で振り返りをしたり、予習をしたりすることで、学びは定着すると思います。配布されたタブレットには、個人的に学習ができる「すららドリル」が入っていますので、ぜひ活用してください。

健康面では、インフルエンザの対応に苦慮しました。11月中旬には区内の小中学校でかなり感染が広がり、中台中でも1日に30人ほどインフルエンザで欠席する生徒がいました。中台中では「全員がマスク着用」、「給食は前向き」に食べる、「部活動は原則停止」、「うがい・手洗いの実施」などの対応をとることで、感染拡大を止めることができ、インフルエンザも落ち着いてきました。私も、毎朝各教室を回り、マスクのない生徒に配っていましたが、収まってくれて本当によかったです。学校全体で感染防止に努めようという意識があった影響だと思います。

中学生の時は、人生の土台を築く重要な時期だと考えています。自分の得意とするものを見つけ出し、基礎的なことをしっかりと身に付けるのが中学生時代だと思います。どの生徒にも、充実した中学校生活を送ってほしいと願っています。

中台中生の活躍！

11月以来中台中生が活躍した結果がたくさん届きました。部活動では日頃の練習の成果を発揮し、コンクールではチャレンジする姿勢が見えました。特にコンクールでは、受賞者しか記載していませんが、応募してくれた生徒がたくさんいました。これからもいろんなことに挑戦してほしいです。

「一生懸命はカッコいい！」を実践した結果が表れ、大変うれしく思います。

1	区民スポーツ大会	水泳入賞
2	区民スポーツ大会	バスケットボール男子3位
3	区民スポーツ大会	陸上団体優勝 個人種目入賞13
4	中体連新人大会	バドミントン個人3位 団体3位
5	中体連新人大会	サッカー優勝
6	総合体育大会 陸上競技	男子団体4位 女子団体2位 個人入賞41種目
7	身近な環境に関するポスター	銅賞1 奨励賞1 努力賞2
8	歯と口の健康に関する図画・ポスター	特賞1(都入選) 1位2位3位各1 佳作10
9	明るい選挙ポスター	佳作2
10	薬物乱用防止ポスター・標語	ポスター佳作2 準佳作1 標語佳作1
11	中学生における税の作文	連合会長賞1 優秀賞2 入選1
12	板橋区読書感想文コンクール	特選1
13	板橋区中学校ソフトテニス1年生大会	男子個人優勝 女子個人3位

オーストラリア 16歳未満SNS禁止法！

1月10日オーストラリアで、16歳未満のソーシャルメディアの利用を禁止する法律が世界で初めて施行されました。この法律には、保護者の同意があれば使用を認めるという例外を設けないこともあります。これにより、16歳未満の人たちは、TikTokやYouTubeなどが使えなくなりました。SNSの過度な使用は身体や精神に悪影響を与え、うつ病になったり、睡眠不足につながったりするといわれています。このため、多くの人たちから、子どもたちの健全な成長に必要で、事件に巻き込まれないためにも必要な法律として評価されています。これを受け、EU諸国も様子を見ながら、新たな法律を考えているようです。

オーストラリアは、世界の中でも早くから学校でタブレットPCを使用し、教科書も紙媒体からデジタル教科書やデータ配信に切り替えてきました。オーストラリアの学力は低下傾向にありますが、SNSを使用してきたことが影響しているのではないかともいわれています。早くから使用してきた国だからこそ、危険性にも早く気づいたのではないかでしょうか。

また、スウェーデンでは、かつて教育現場でデジタル端末の利用が積極的に推進され、ほとんどの教科でタブレットやパソコンが使われていました。しかし、最近では「デジタル化が学力低下を招いているのではないか」という声が増え、再び紙の教科書へ回帰する動きが見られています。これは、デジタル化の潮流に逆行するようにも見えますが、デジタル重視の教育に対する反省と、紙の教科書の再評価が進んでいるためと考えられています。

5年前に「スマホ脳」という本がベストセラーになりましたが、この頃からスマホ使用やSNS利用の危険性が危惧されていました。今年の日本における中学生のスマホ使用時間は、一日平均145分です。このうち勉強以外に使っている時間は125時間という調査結果が出ています。スティーブ・ジョブズなど、IT界で有名な人たちは、自分の子どもにはスマホなどを持たせていないそうです。

日本では小学生から当たり前のようにスマホを操作し、日常生活の一部として定着してきました。確かに便利で、有効活用できることもたくさんありますが、改めて、その危険性を知っておく必要があると思います。

これらのこと踏まえ、板橋区の小中学校では配布したタブレットの使用制限を設けることにしました。中台中学校では午後11時から午前6時までは、タブレットの使用ができないように設定します。時期は1月8日からになります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

なお、令和8年1月17日(土)には学校公開がありますが、10時50分から中台中の学校医である平山 貴度先生から「スマートフォンやゲーム依存が身体に及ぼす影響(案)」の講義を会議室で行つていただく予定になっています。

ぜひ、ご参加いただき、これからのお子さんたちの健全な成長に役立てていただきたいと思います。

電車の中で気になること！

最近、電車に乗るとイライラすることが増えてきました。歳をとってきたせいかも知れませんが、周りのことを気にしない人が多くなってきた感じがします。ある調査で、電車の中でイライラすることランキングが発表されました。その結果は次のようになっています。

第1位 ドアの近くで動こうしない：乗り降りの邪魔になっている

第2位 声が大きい：大きな声で話しているのは迷惑

第3位 座席を詰めない：詰めればもう一人座れる

第4位 イヤホンから音漏れがする：雑音が周りの人へのストレスとなっている

第5位 荷物が邪魔：背中のリュックがぶつかる

この結果を見て、意外に思ったことが2つあります。1つは携帯電話による通話がないことです。以前は、「車内での通話はご遠慮ください」というアナウンスがあったように、迷惑行為の代表のような認識でしたが、確かに見かけなくなってきた気がします。これは、マナー違反という認識が広がった結果かも知れません。もう1つは、「車内で化粧をする人」や「飲食をする人」、そして「混んでいる電車で足を組んで座る人」がランキングに入っていないことです。私は、これらの人を見たことがあります。見るとたびにイライラしてしまいます。「子どもの頃に教わっていないのか」「周りの人のことを考えられないのか」とつい考えてしまいます。

1月4日から1月10日までは、人権週間でした。人権を尊重する出発点は、周りの人たちが安心して過ごせるように、周囲のことを考え、嫌な思いをさせないように振る舞うことだと思います。多くの人たちと接することが多い中、周りの人たちを思いやる気持ち大切で、最低限必要なマナーは守るべきだと思います。

自分勝手な行動は、時に相手に不愉快な思いを与えてしまいます。中台中の生徒たちにも、みんなが気持ちよく生活できるような意識をもって暮らしてほしいと思います。

*本年も、いろいろとお世話をになりました。よい年をお迎えください！